

《参考資料》

科学技術連携施策群にかかる点検結果の概要等

平成 16 年 11 月 26 日現在

テーマ	対象府省	点検の観点、結果の概要
ポスト ゲノム - 健康科学 の推進 -	文科省、厚労省 経産省	<p>優先順位付け等において指摘した、連携の強化、重複の排除等の観点から、テイラーメイド医療関連、再生医療関連の 2 つのテーマを中心に、関連する 17 施策を点検した。</p> <p>連携、重複排除に関しては、分担、協力などについての基本的な考え方が整理され、今後も連絡会などを通じて一層の連携強化を図る計画となっており、コーディネーター決定後の連携施策群の運営に向けて引き続き準備を進める。</p>
新興・再興 感染症	内閣府、文科省 厚労省、農水省 経産省	<p>海外拠点形成、人材の育成、高度生物学的封じ込め施設（P4）の運用、食品の安全性確保などを中心に、連携施策群がその効果を発揮できるよう、連携強化を中心とした施策の進め方の観点から 7 施策を点検した。</p> <p>分担、協力はかなり明確になっており、海外拠点施設への府省の相互乗り入れ構想が進んでいるなど体制の強化が従来以上に図られている。さらに、平成 16 年度までは含まれていなかった経済産業省等との連携を、より効果を上げるために進める。</p>
ユビキタス ネットワーク - 電子タグ 技術等の 展開 -	総務省、経産省 文科省、国交省	<p>連携強化を図る具体的取組を相互に確認する観点から、既に着手又は実施予定である 8 施策の研究開発、実証実験を点検した。</p> <p>開発した技術の他の施策での積極的活用、実証実験で得た新たなニーズや課題等の研究開発の実施者側への提供、アジアとの連携を含めた標準化活動の着実な実施等、個々の施策間の有機的な連携の強化が極めて重要であり、今後の施策実施に反映する。</p>
次世代ロボ ット - 共通プラ ットフォ ーム技術 の確立 -	総務省、文科省 農水省、経産省 国交省	<p>共通プラットフォーム技術の確立の観点から、12 施策を点検した。</p> <p>次世代ロボットの連携施策群での目標を、時間軸を考慮した上でより明確に設定することが必要と認められた。また、現状では、複数の省庁が個々のプログラムを不要な重複なく独自に実施しており、上記目標設定の明確化を図ることにより、平成 17 年度以降、連携効果を更に高める。</p>

テーマ	対象府省	点検の観点、結果の概要
バイオマス 利活用	総務省、文科省 経産省、国交省 農水省、環境省	<p>バイオマスエネルギー利活用、バイオマス燃料自動車、地域実証の3つの観点から9施策を点検した。</p> <p>既にバイオマス・ニッポン総合戦略やゴミゼロ型・資源循環型技術研究イニシャティブで各省の連携が進行中であるものの、エネルギー高効率転換技術や発酵技術等の研究開発、地域での実証研究において、更なる連携強化の検討が必要である。</p>
水素利用/ 燃料電池	総務省、経産省 環境省、国交省 文科省	<p>水素エネルギー社会実現のための技術基盤の構築に向けた連携強化を図る観点から、水素貯蔵、固体高分子形燃料電池及び固体酸化物形燃料電池関連の12施策を点検した。</p> <p>経済産業省を中心とした連携の重要性が確認され、目標達成に向けたロードマップの作成、ブレークスルーのための萌芽的研究の強化、燃料電池の普及に向けた各種施策の充実が必要である。</p>
ナノバイオ テクノロジー	文科省、厚労省 農水省、経産省 環境省	<p>ナノレベルイメージング、ナノ薬物送達システム、マイクロリアクタ開発の各分野について、連携強化等の観点から9施策を点検した。</p> <p>今後、コーディネーターの主導の下での施策レベル、研究プロジェクトレベル等、様々な観点から連携の具体策について検討が必要である。</p>
地域科学技 術クラスター	内閣府、文科省 農水省、経産省 国交省、環境省 総務省、厚労省	<p>地域科学技術クラスターに係る関係府省の15施策について、連携強化を図る具体的取組を明らかにする観点から点検した。</p> <p>まずは、新たに設置した「地域科学技術に係る関係府省連絡会議」及びその下部組織の「地域科学技術に係る地域ブロック協議会」を活用して、情報の共有・連携を図るべく検討を進める。</p>